

私：50代おやじ

試験日；平成27年11月28日

試験場：フォーラムエイト

前日までに用意していたカバンを、なんとなく当日朝変えた。

JRはよく止まるし、午後からの試験なので、昼食をゆっくり取るつもりで、**1時間半前に着くつもりで、家を出た。**

もう少しで渋谷だ！受験番号は何番だっけ。見てみよう…**受験票が無い？！**

元のカバンに入れたままだ（汗）

即刻大学生の息子にTEL『受験票持って来て！』

途中の駅まで引き返して、そこで落ち合う事に。

間に合った。けど、昼食抜きになってしまいました。

フォーラムエイトに着くと、2人の女性が受付にいて、受験票を出すと、会場の案内図を渡してくれて、それに受援番号のシールを貼ってくました。

（受験票忘れても、受験番号と身分証明書があれば何とかなるな、と思いました。皆さんも最悪の事態を想定して、携帯に**受験票の写真**を撮っておきましょう。）

控室には受験者が30~40人いて、皆、最後の追い込みをしていたように思います。

私は走ったりして寒いのに汗だく（冷汗？）だったので、控室の後ろにある自動販売機で飲料を買い一気に飲み干し、心を落ち着かせました。

指定時刻に試験室前に行くとパイプイスがあったので、座ります。

時間になっても呼び出しが無い。5分経過。前の人が長引いているのかな？

と思っていたら、ドアが開いて『〇〇さんどうぞ。』

入室すると、指定のイスと面接官までは5~6m離れていて遠い印象です。

面接官は2人（面接官A：大学教授っぽい。自分より年上。面接官B：役人風。自分と同じくらい）です。

面接官A：では〇〇さん、**業務経歴を3分**でお話してください。

私：（えっ3分！5分だと思って5分キツカりに言えるように練習していたのに。どうしよう、後半はしよるか。）私は〇〇年に〇〇社に入社し、〇〇を担当し～中略～今に至ります。

（一応、業務経歴に書いた内容は全て話した。）

面接官A：（シーン）何か書いてる様子。

私：（あれ？なんかマズイ事言った？）（空気が重たかったので、にこやかに）ちなみに、経歴にある〇〇は、〇〇なんです。

面接官 A：そうですか。そういう事情なんですね。→ここから雑談。

面接官 B：技術士を志望する動機は何ですか。

私：(想定質問が来た！) 近年業務上、海外企業とお付き合いする機会も増え、コンサル的な仕事もしています。そこで、技術士資格を取得した方が、ファーストコンタクトで相手から信頼を得られ易いと考え、今回受験しました。

面接官 B：技術士になったとして **CPD** についてのお考えについてお話ください。

私：(これも想定内) 技術者として、常に新しい技術に接するため、学会や展示会に参加しています。また、社内教育では、現在では講師として～中略～務めています。

面接官 B：海外業務が増えてきているとお伺いしましたが、IPEA 国際エンジニアと制度があるのはご存じですか。

私：はい、APEC エンジニア等、そのような制度があることは知っていますが、内容については、よく知りません。技術士になってから考えたいと思います。

面接官 A：あなたが業務上、特に**技術士**として携わった点を教えてください。

私：〇〇の開発に携わった事です。〇〇は業界初の～中略～。

面接官 A：そうなんですね。それでは、あなたが業務上、抱えている課題について教えてください。

私：〇〇です。

面接官 A：その課題を克服するため、〇〇さんは、どのような対応をしていますか。

私：ん～難しい問題ですね。社会情勢が～中略～だと思います。

面接官 A：それは、具体的にはどうすればよい？

私：時間は掛かりますが、〇〇ですかねえ～。

面接官 A：〇〇という事ですか？

私：そういう事になるかと思います。

<同じようなやりとりを数回繰り返しました。お助け質問のような感じです。課題に対し、どういう対策をしているかが重要なようです。配点が高い？>

面接官 B：**技術士倫理**について、2つ述べてください。

私：(これも想定内) 上から2つ述べさせていただきます。まず、公衆利益の優先です。～中略～。

面接官 B：今述べた**技術士倫理**について、それに反するような事に遭遇したことがありますか。

私：無いですね。

面接官 B：分かりました。お疲れ様でした。(面接官同志目を合わせ) これで面接を終了します。

私：(ほっとして) ありがとうございます。(席を立とうとした、その時)

面接官 A：**技術士倫理**で、**秘密保持**についてはどうですか。

私：(終わったと思っていたので、気が動転して) ハイッ。海外の企業と業務を始める前に、

必ず秘密保持契約を結びます。やむを得ない場合（正解：正当な理由なく）ということもありますが、そのような場面に遭遇した事はありません。（俺は何言ってんだ？これは罠か？）

面接官 A：そうですか。お疲れさまでした。

5分オーバーの25分でした。

面接室から出た後、反省しきり。最後の質問でまともに答えられなかった事や、CPDで特許についてアピールを忘れた事等々。落ちたと思いましたが、受かってました。

私は、業務経歴を述べる際に、技術士倫理のエッセンスをちりばめて言えるように練習していました。最初に聞かれる質問なので、やはり第一印象が大切だと思うからです。最初の時点で、「この人は技術士にふさわしいな」と印象付けられれば、有利になると思います。（実際は、3分バージョンで練習してなかったのが、かなりあせりましたが。）

試験前は、嫁と娘から「ぶつぶつうるさい！」と怒られながら練習してました。皆さんは家族の協力を得て練習しましょう！